

太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2024. 4

「和して同ぜず 子育て」目指せ!



写真は今から20年前。長男が小6 次男が小3 私が38歳。
「太田先生は当時からヨガの“木のポーズ”してたんですね！」

いいえ！ これは当時流行っていた、“命”のポーズです(笑)
自分で言うのもなんですが、当時バリバリ働いていながら、子育てにも積極的に関わっていました。働くだけの父親ではいけない、子どもの心身の健康を養うことが親の一番の務めだと自覚していたので。

さて、先月上京した目的の一つが『子供のためのからだ会議』参加するためでした。

「未来の大人」に対して今の大人がなすべきことは何か？

医師、歯科医師、心理カウンセラーなど幅広い立場から会議が行われました。



私も薬剤師として、参加者の中で誰よりも熱心に質疑しました。その結果、今の大人、特に子育て中の親に求められる生き方。それが

『和して同ぜず』

(君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず)

自分に主体性を持ちながら、自分の考え方・生き方と異なる他人・社会を嫌わず上手に付き合っていく子育て。それが子供の心身の健康に大切。という意味です。

「同」というのは、自分の考えがないまま、他人の言動や常識に同調して“長いものに巻かれ続けている”状態。(本人には主体性がないゆえ巻かれているという自覚もありません)

さて、子供たちを取り巻く今の環境。大人たちが作り出した常識・社会。健康的良心的だと思いませんか？ 「同」してさえいれば、子供は健康に育っていく。そう信じている大人は、失礼ですが小人かも・・・(^_^)

食べることに不自由しない。蛇口をひねれば水が出て、ワンタッチで風呂も沸く。登下校は親の車送迎。友達とはいつでもSNS でつながれる。今の祖父母世代の子供時代とは、全く正反対の環境ですね。

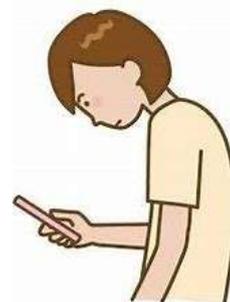
世代間の考え方(育ってきた環境)が違い過ぎて、3世代同居がうまく機能していないご家族が目立ちます。テレビの登場で家族の会話が減りさらにパソコン・スマホの登場で、もはや「会話なき家族」が出来上がりました。対面して話し合うことなく、LINEでのやり取りが当たり前。「家族がいなくてもスマホがあればいい」。狂気の沙汰の時代です。

便利になればなるほど、人間は感性・自然観を失って弱っていく。

認めたくないことですが、否定できない現実だと思います。
子供たちに足りないものは「粘り強さ」「たくましさ」「ハングリー精神」。
不便な子供時代を生きて来た世代には、納得！ではないでしょうか。

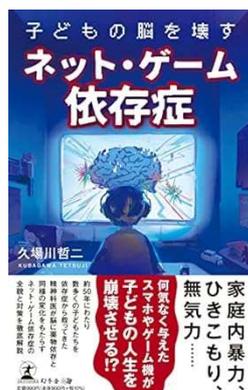
その便利を加速させた「スマホ」こそが、今の子供たちの心身を大きく害しています。もちろん、大人たちの心身も例外ではありません。

右のような姿勢で、こんな至近距離で画面を見て
片手で握って、片手の指でタッチ・プッシュして
何時間も“無言で”見つめ続ける……



小学生、いや幼稚園時代からこんな習慣を身につけて
健康な大人になれるなど、私は想像できません。

成長期の骨格の問題、光刺激による目の問題、強力な電磁波（5G）被爆
脳（前頭葉）の機能低下、言葉を話さない、紙とペンで字を書かない、
そして何よりも「依存症」に陥るリスク、計り知れません……



こうした警笛を鳴らす書籍はたくさん出版されていますが、早速親が買い求めてスマホ・ゲーム大好きの子供に「今すぐ読んで、今すぐ止めろ！」と恫喝しても、まず効果は期待できません。親自身もハマっているから。

しかし子供たちに対するスマホの影響力は、想像以上にかなり深刻です。発達障害とレッテルを貼られる子供、不登校・引きこもりの子供・・・特に4年前のコロナ禍から、どんどん増加しています。

では、どうすれば今の子供たちの「心身の健康」を守れるのか？

『戒律』を前提に、スマホを使用させることです。

「律」とは社会のルール。「戒」とは家族のルール。

「スマホは長時間してはいけない」という律を守れない子供に対しては「スマホ使用時間は夜8時まで！ 週1はスマホなしとする！」家族独自の「戒」を設ける。もちろん、親自身も「戒」を順守する。

子供から反発されようとも、子供の将来・健康を最優先に考えるならば毅然として「戒」を守らせる。そして最終的には、自分自身で「自戒」の意識を持たせる。自分の健康・健全な生活を自分で守るために。

20年前。ゲームボーイ（携帯ゲーム機器）が流行り出した頃でした。我が家では夫婦で話し合い、『戒』を設け、子供たちに順守させました。土日はスナック菓子食べながら、思う存分ゲームやってよし！ ただし平日の夜は禁止！という『戒』だったと記憶しています。

子供がスマホ・ゲーム依存に陥っている家族に共通することがあります。夫婦の仲が極めて悪い。だんまりの冷戦状態か、怒鳴り合うか。健康増進の意識が薄い。時間とお金を最優先で健康に使わない。親に笑顔がない。家に安心感がない。だから必然、子供はスマホを握る。

「我が家は食事中、全員スマホ OFF。夜9時になったら再び OFF にして10時にはみんな寝るから、夜はつながらないんだ」
そうした「戒」に対して、「え～信じられない～～変な家～～～！」。
友達や周りに驚かれようが、バカにされようが、気にしない。

子供たちだけではなく、親自身の心身の健康を守るために「戒」を設けて『和して同ぜず』をモットーに、明るく楽しく生きていく。

スマホ以上の「楽しさ」が家庭にあれば、スマホなんか不要ですね😊😊